

マイタイムライン作成地区別ガイドライン

〈愛鷹地区〉

愛鷹地区について

原西部地区で高橋川と合流する沼川は、ほとんど勾配がないため、大雨の際には山地から一気に流れ出た雨水をスムーズに海へ排出することができず、南部に低地帯が続く愛鷹地区は広く冠水することが多くなっています。

地区の東部では新中川の影響も想定されていますが、沼川・高橋川の影響が最も大きく、令和3年7月豪雨では、沼川・高橋川の氾濫を起点として床上浸水が多く発生し、甚大な被害をもたらしました。

また、地区の東部および北部に位置する急傾斜地は、土砂災害（特別）警戒区域に指定されており、浸水被害とあわせて注意が必要です。

1 該当する単位自治会

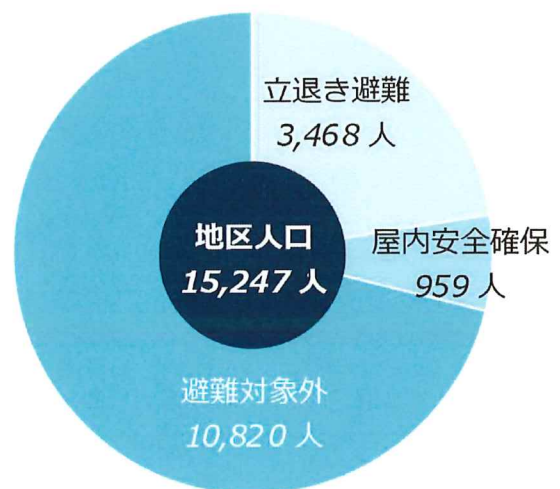
小屋敷台、東椎路小屋敷、鷹根台、東椎路中東、つばきヶ丘、東椎路久保、赤坂、東椎路中尾、春ノ木、芝原町、松見台、堤山、大久望町、愛鷹宮本、西椎路、目黒身、東原、東原ニュータウン、鳥谷、柳沢、青野

2 地区内で洪水浸水を及ぼす河川

沼川、高橋川、新中川

3 地区周辺の雨量

- 令和元年10月台風19号
165.0mm (10/11~12日)
- 令和3年7月豪雨
382.0mm (7/1~3日)
- 令和3年9月豪雨
105.0mm (9/1~2日)



図：地区の避難人口の割合

4 地区の避難人口と指定緊急避難場所

地区内の避難人口は、立退き避難が3,468人、屋内安全確保が959人、合計4,427人となっています。愛鷹地区の人口は15,247人のため、約3割の方が立ち退き避難又は屋内安全確保が必要な状況です。

指定緊急避難場所として愛鷹地区センター、愛鷹小学校、愛鷹中学校を指定しています。市が避難情報を発令したときは愛鷹地区センターを避難場所として開設します。

自主避難者がいたり、地区センターだけでは避難者を受け入れられないときは、愛鷹小学校、愛鷹中学校を開設します。

避難場所	延べ床面積 (㎡)	※収容人数 (人)
愛鷹地区センター	1,036	219
愛鷹小学校	9,083	1,926
愛鷹中学校	6,959	1,476

※収容人数は感染症等に配慮しない形での目安

5 洪水地区タイムライン例

地区の南部を流れる沼川と、沼川と合流する高橋川沿いにおいて、床上浸水被害が頻発しています。土砂災害警戒区域を地区内に多く有しているため、土砂災害警戒情報が発令された場合には速やかに避難が必要です。

洪水による浸水深は1～3mで、浸水継続時間は概ね半日～1日となっています（いずれも想定最大規模。場所によって1日～3日となる可能性あり。）。

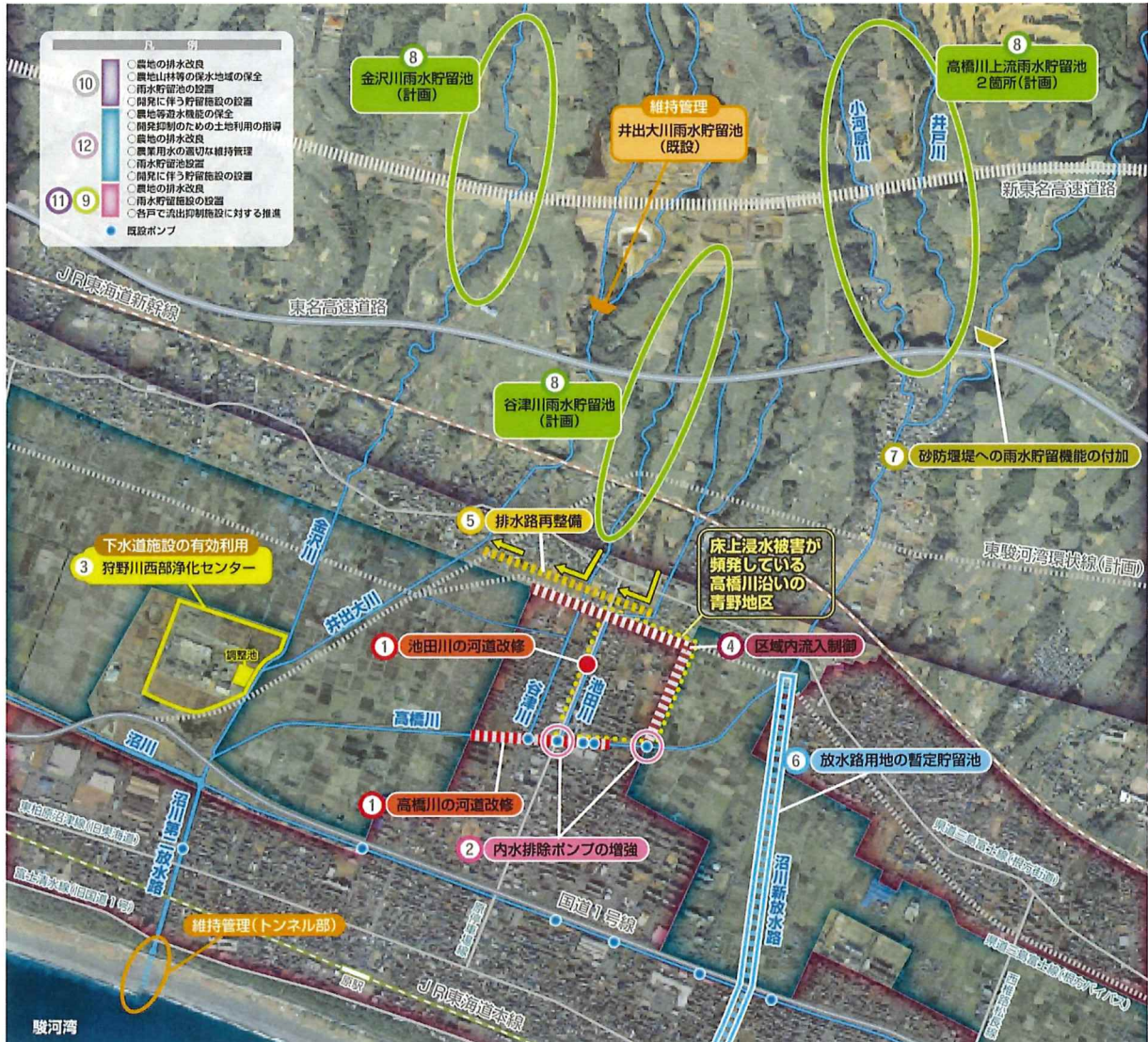
また、北部の急傾斜地は土砂災害（特別）警戒区域が指定されているため、土砂災害警戒情報や市からの避難情報が発令された場合には速やかに避難が必要です。

水位状況は静岡県サイポスレーダーやテレビのdボタン等から最新の情報を確認できます。

河川名称	警戒 レベル	沼川 今沢橋	高橋川 青野	対応	土砂災害
堤防高	5相当	—	4.2m	自宅が浸水していないならば最新の注意を払って立退き避難 避難行動要支援者がいる場合は2階以上など自宅の高い場所に避難 河川の付近に居住していてすでに付近が浸水している場合は立ち退き避難はしない	土砂災害発生
氾濫危険水位	4相当	—	3.0m	避難要支援者は避難開始 健全者も立退き避難または屋内安全確保により全員が安全な場所へ避難する	土砂災害警戒情報
避難判断水位	3相当	—	2.2m	連合自治会長は単位自治会長に、必要に応じ公民館や自治会館を避難所に開設するよう依頼 避難行動要支援者は避難を検討 市の避難所が開設された場合は必要に応じ民生委員や防災指導員等と協力し避難行動要支援者に声掛け又は同行避難	大雨警報
氾濫注意水位	2相当	2.0m	1.8m	情報ツールによる大雨や気象情報等の状況確認開始 非常持ち出し品の準備	大雨警報
水防団待機水位		1.5m	1.5m	避難行動要支援者は立ち退き避難の準備、2階以上に住居がある人は2階以上へ移動 民生委員や防災指導員と協力し避難行動要支援者への声掛け	

6 沼川（高橋川）流域豪雨災害アクションプランより

平成 20 年に策定された沼川（高橋川）流域豪雨災害アクションプランに基づき、雨水貯留地や沼川新放水路の整備に向けた取り組みが進められています。



7 地区別カルテ

避難判断水位到達後に避難行動を開始したときは、健常者の方でも大半の方が氾濫危険水位までに避難場所への避難を完了できない状況となっています。(313 箇所の結節点のうち 284 箇所が避難困難の赤色を示しています。)、地区の北部は傾斜地を有しており、土砂災害の危険も高く、川沿いに居住する方はもちろん、お住まいの場所が土砂災害警戒（特別）区域に該当するか確認し、迅速に避難を行う必要があります。

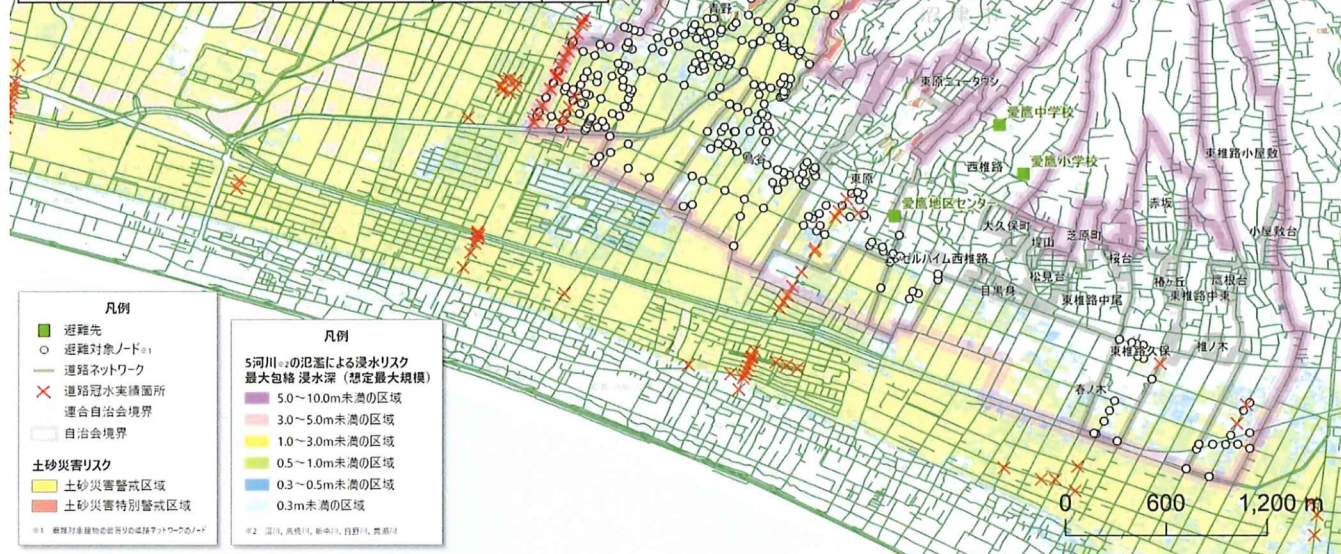
特に避難行動要支援者の方は避難判断水位に到達する前に避難を開始する必要があります。

愛鷹地区 地区別洪水避難カルテ 基本情報

避難先：愛鷹地区センター			
自治会名	A:立ち退き避難人口	B:避難先収容可能人数	充足率 B/A
エンゼルハイム西椎路、東原、東原ニュータウン、目黒身、大久保町、西椎路	749人	219人	29%

避難先：愛鷹小学校			
自治会名	A:立ち退き避難人口	B:避難先収容可能人数	充足率 B/A
春ノ木、椎ノ木、鷹根台、楢ヶ丘、東椎路久保、松見台、東椎路中尾、桜台、堤山、東椎路中東、芝原町、小屋敷台、赤坂、愛鷹宮本、東椎路小屋敷	133人	1,926人	1,448%

避難先：愛鷹中学校			
自治会名	A:立ち退き避難人口	B:避難先収容可能人数	充足率 B/A
鳥谷、青野、柳沢	2,587人	1,476人	57%



凡例	
■ 避難先	○ 避難対象ノード ^{※1}
— 道路ネットワーク	× 道路冠水実績箇所
— 連合自治会境界	— 自治会境界

土砂災害リスク	
■ 土砂災害警戒区域	■ 土砂災害特別警戒区域

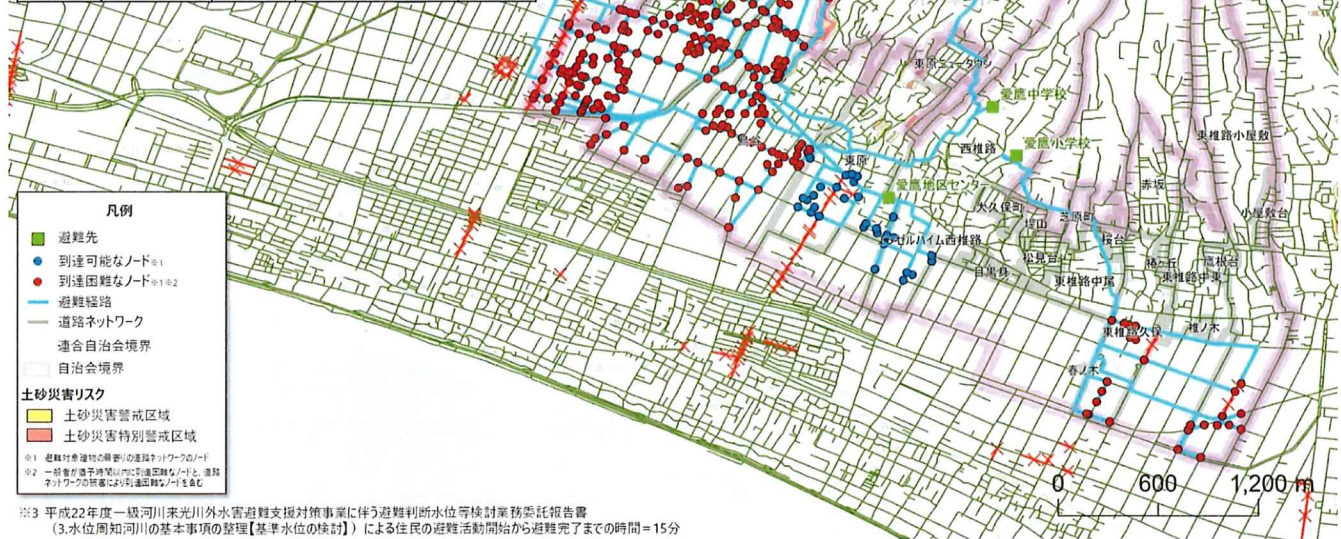
※1 避難対象地域の中心点の道路ネットワークノード
 ※2 沼川、高橋川、新中川、目黒身、青野町

愛鷹地区 地区別洪水避難カルテ 住民避難シミュレーション結果(冠水実績箇所:通行不可)

避難先：愛鷹地区センター				
種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間 ^{※3}	避難可否
一般者	637m	約11分	15分(沼川、高橋川、新中川)	不可
要配慮者		約22分		不可

避難先：愛鷹小学校				
種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間 ^{※3}	避難可否
一般者	2,703m	約46分	15分(沼川、高橋川、新中川)	不可
要配慮者		約91分		不可

避難先：愛鷹中学校				
種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間 ^{※3}	避難可否
一般者	3,407m	約57分	15分(沼川、高橋川、新中川)	不可
要配慮者		約114分		不可

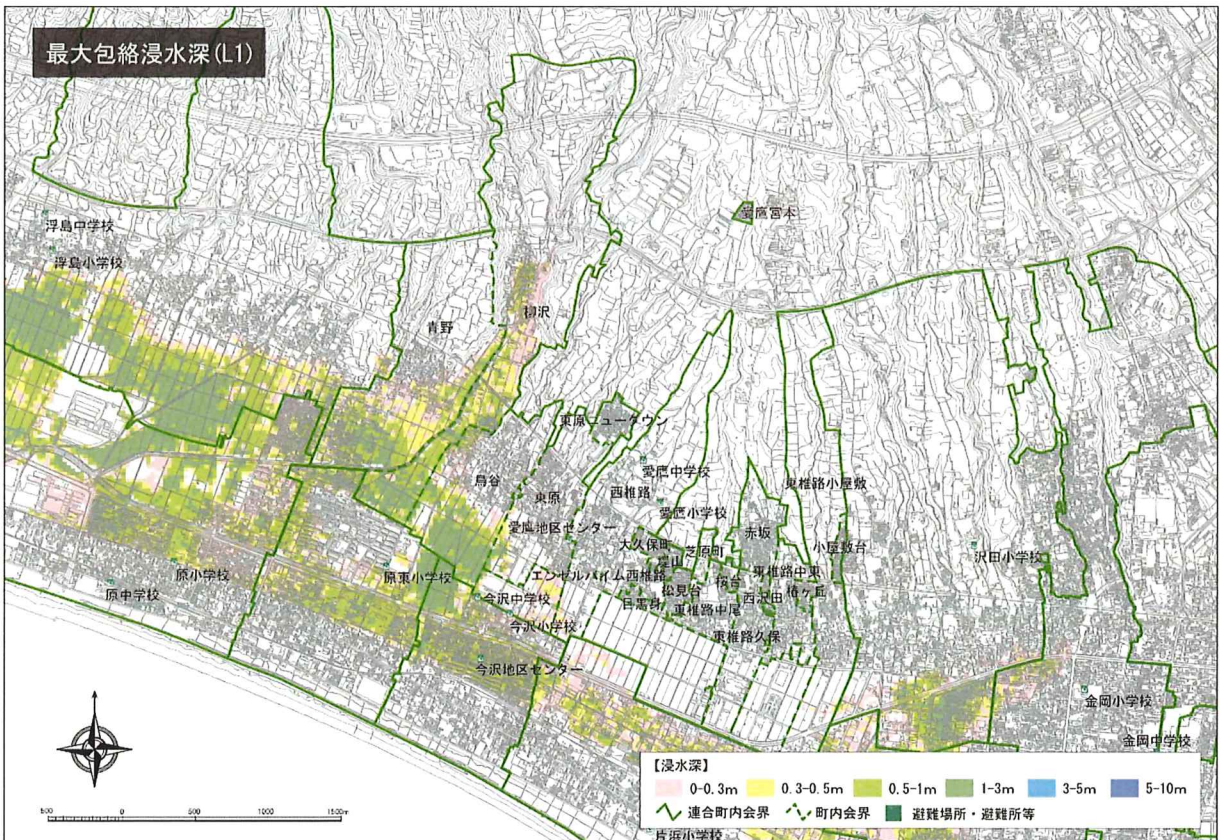
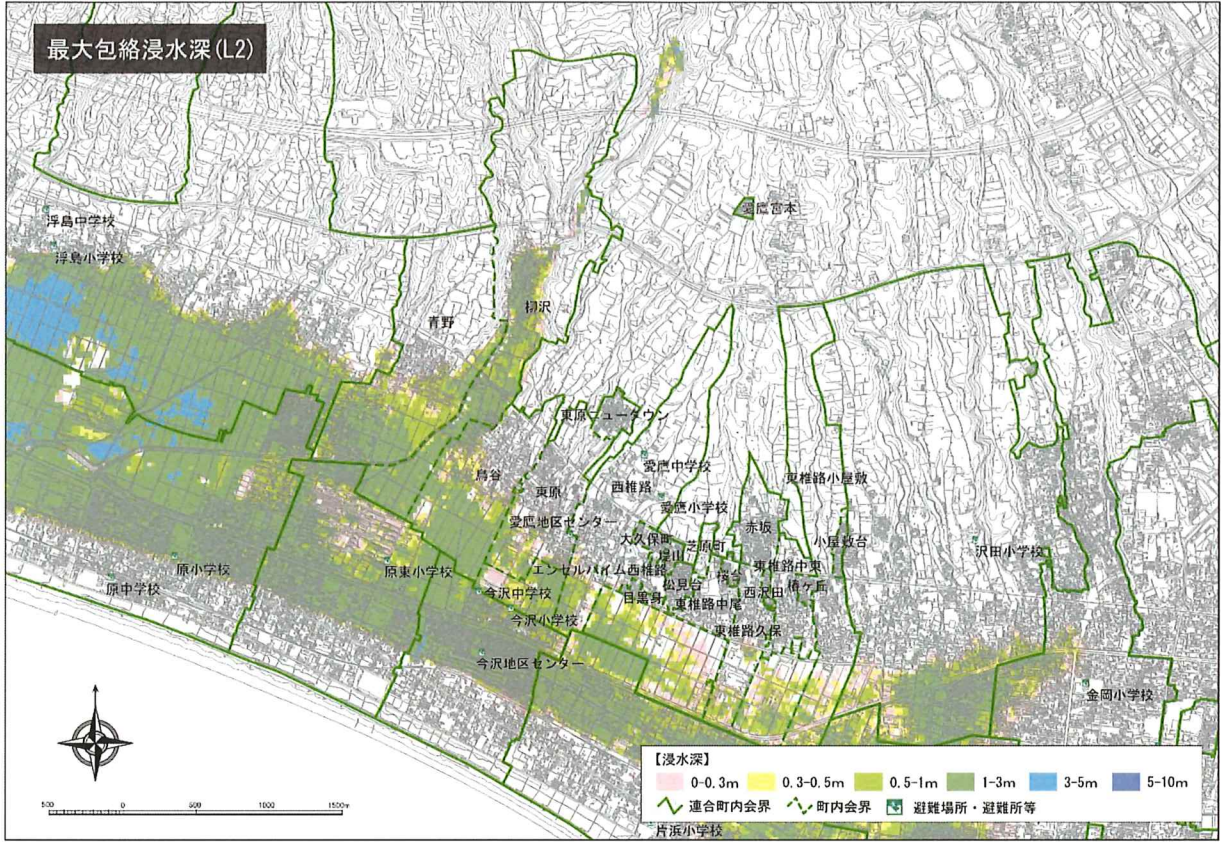


凡例	
■ 避難先	● 到達可能なノード ^{※1}
● 到達困難なノード ^{※1,2}	— 避難経路
— 道路ネットワーク	— 連合自治会境界
— 自治会境界	— 自治会境界

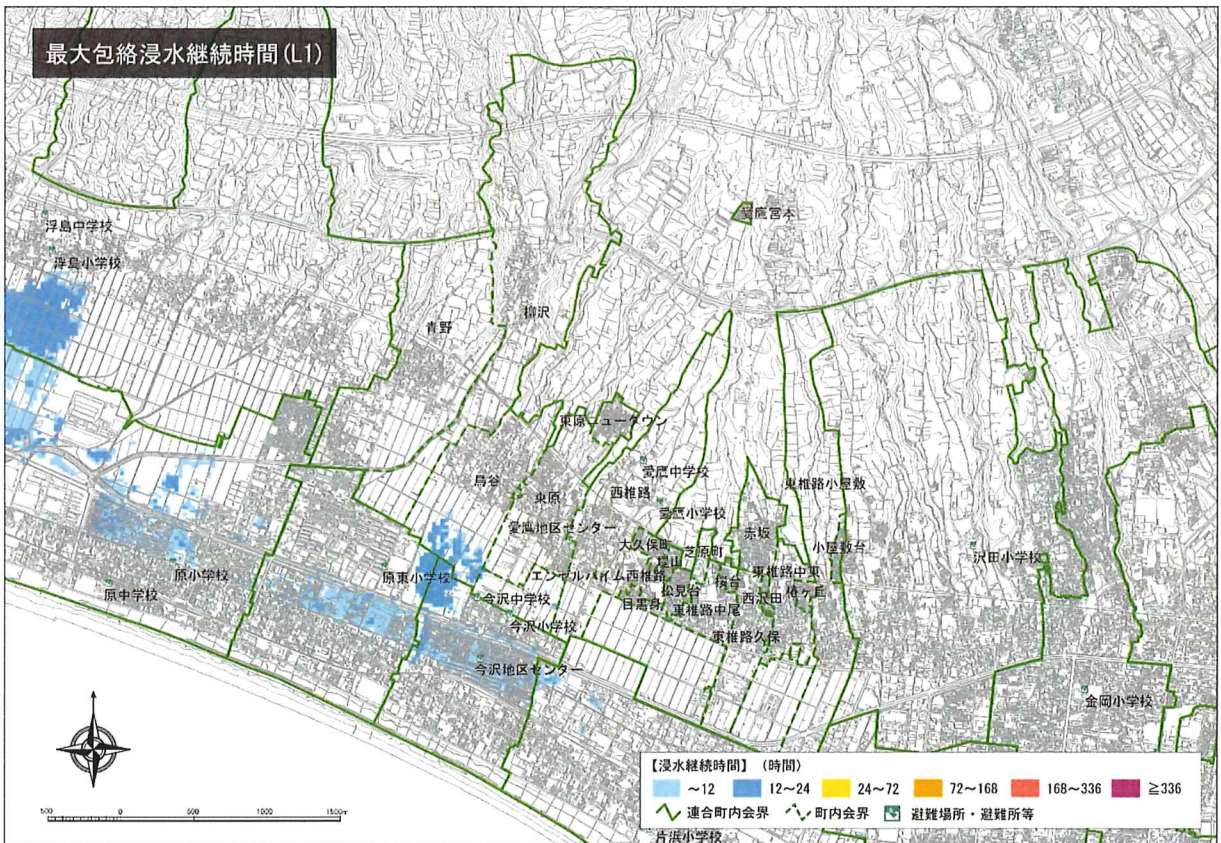
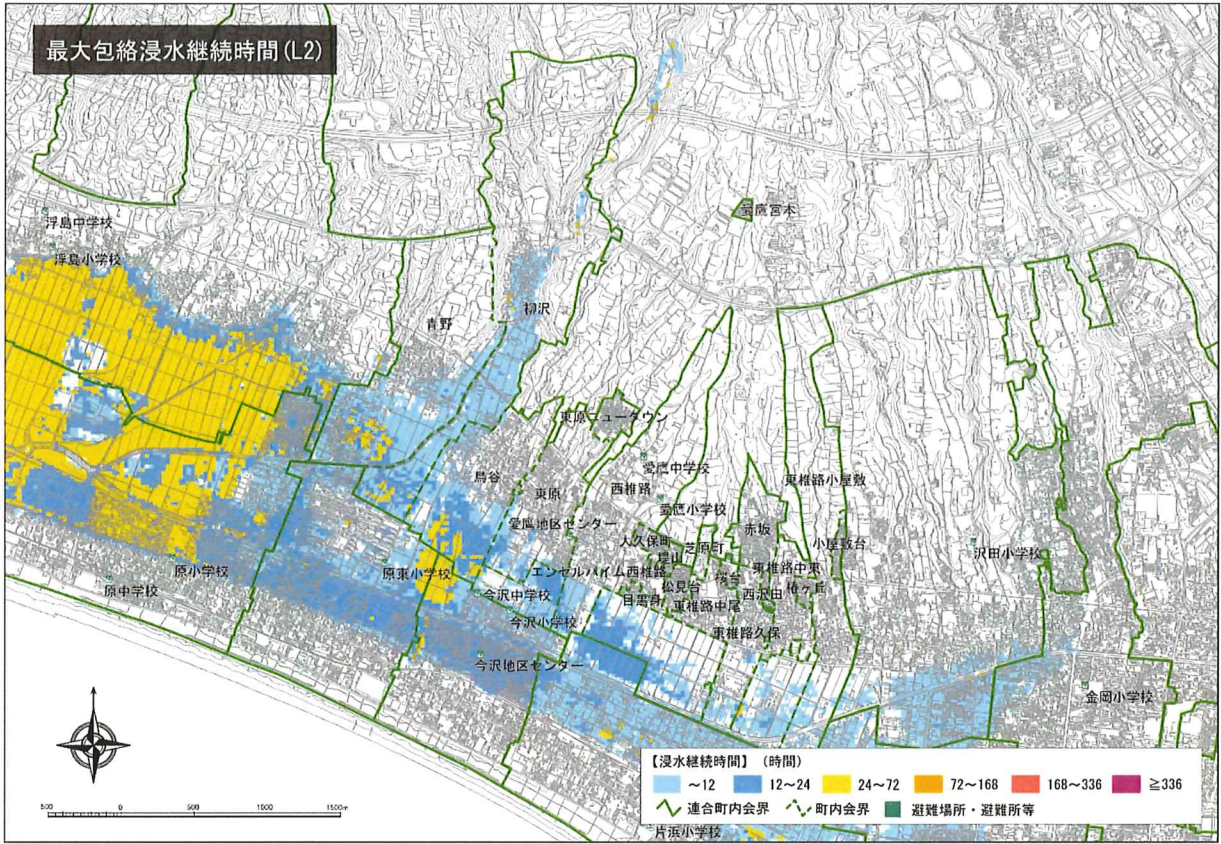
土砂災害リスク	
■ 土砂災害警戒区域	■ 土砂災害特別警戒区域

※1 避難対象地域の中心点の道路ネットワークノード
 ※2 一般者が徒歩で避難可能な到達可能なノードと、道路ネットワークの接続点の到達困難なノードを区別
 ※3 平成22年度一級河川来光川外水雷避難支援対策事業に伴う避難判断水位等検討業務委託報告書(3.水位周知河川の基本事項の整理【基準水位の検討】)による住民の避難活動開始から避難完了までの時間=15分

浸水範囲と浸水深を確認してみよう



浸水継続時間を確認してみよう



氾濫流到達時間を確認してみよう

